

すなみ新駅の早期設置を

谷口 佳寿子 議員

問：今定例会の補正予算案の中に、幼児用市民プールの建設費が盛り込まれ、建設場所はすなみ海浜公園内であると示された。

シャワーや更衣室等、既存の施設を活用し、建設費の低減を図ることは結構であるが、懸念されるのは駐車場不足である。

シーズン中の慢性的な駐車場不足、交通渋滞を緩和し、市民や観光客の利便性向上のため、「すなみ海浜公園駅」(仮称)の整備に向け、早急に取り組むべきでは。

答：すなみ海浜公園は、シーズン中、駐車場不足による路上駐車が行われており、今年度新たに30台分の駐車場を整備し、合計234台の駐車場を確保した。

今後、幼児用プールの新設に伴い利用者の増加も見込まれ、また、温泉施設や景観林道などによる観光客の誘致や利便性を確保するために、新駅設置を含めた公共交通機関の整備を検討したい。

市内の経済界など各種団体・地元町内会・企業による「JR呉線すなみ新駅設置準備会」を立ち上げ、実現に取り組む。

べきではないと思うがどうか。

②教職員の健康管理システムづくり、労働安全衛生体制の具体化をどのようにするのか。

答：①学力テストは全国の小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した。調査結果を分析し指導の結果を明らかにしていく。各学校名を明らかにした公表はしない。

②教職員の労働安全衛生体制については、教職員の心と体の健康保持・増進に努めている。

引き続き時間外勤務の縮減に取り組んでいく。医師の面談指導等、実施体制整備をするとともに平成20年度の予算化に向け準備をしている。

教育行政について

七川 義明 議員

問：①全国学力テスト実施後の対応について、文科省は通知で「公表・情報公開については本調査の実施にあたって、序列化や過度な競争につながらないよう配慮が必要」としている。

学校ごとの学力向上の必要性はあるが、成績の公表はす

予算編成と市長の姿勢

七川 義明 議員

問：①合併により広範囲となった市民生活は、将来への不安など生活圧迫感が強まっている。市政懇談会等を通して市民と接する機会をつくっているが、今日までの受け止めと課題は。市民から寄せられている要望等について、どのように扱われるのか。

②行政施策執行に関わる職員の健康管理、心的ゆとりのある勤務体系を求める。

不安定な非常勤臨時職員の雇用関係を改善すべきと思うが。



すなみ海浜公園 ◎幼児用プール建設予定地

答：①市政懇談会は行政課題の把握・運営に対する理解・意見等を反映するために開催している。

要望等の扱いについては、報告・連絡・相談を徹底するよう職員に指導している。現在まで届いている要望等については、実情を精査する。

②職員の健康管理に配慮し定員管理をしていく。

現在、臨時職員 123 名、非常勤職員 249 名在職しており、職務の重要さは認識している。不安定な雇用実態については、今後研究していくが、当面は現方法で取り組んでいく。

長期財政計画について

松浦 良一 議員

問：長期財政収支の見通しについては、将来の財政見通しを予想できる範囲で明らかにすると共に、長期的展望に立つて限られた財源の効率的な運用を図り、堅実な財政運営を行うための指針とすることを目的に作られている。

①この財政収支見通しについて、さらに見直しを検討するのか。

②財政運営に必要な 4 基金の 20 年度以降の見通しは。

③地方交付税改革による新型交付税の内容は。



市政懇談会

答：①本年 6 月に策定した長期財政収支見通しについて、基本的に考え方を変更することはないが、国の示す地方財政計画や経済成長率等見直しがあった場合には当然反映する。

②基金については 5 年間に約 66 億円の取りくずしを予定し、23 年度末には約 13 億円の残高となる。

③新型交付税は、人口と面積を基準に交付税を配分する制度で、本年度から導入された。国は今後交付税額の 3 分の 1 程度を新型交付税に移行し、簡素化と交付税の予見性の向上を図ることとしている。

市道の維持管理について

松浦 良一 議員

問：市議会だよりを読んだ市民からの声を受けて、9 月定例

会に続いて再度、次の 4 点について聞く。

①市道の路線数とその総延長は。

②道路パトロールの現況は。

③住民からの通報・要望は。

④新年度における通路維持管理費は、どのように考えているのか。

答：①路線数は 3,691 路線、総延長 1,432 km である。

②パトロールは幅員 3 m 以上は週 1 回の割合で実施。修繕出来るものはその場で修繕し、出来ないものは業者委託している。幅員 2 ~ 3 m の道路は 11 月より業者委託で修繕している。

③通報・要望は、11 月末現在 1,093 件受けている。

④新年度の道路維持費については、19 年度の状況を勘案した額を計上し、安全で安心な市道の維持管理に努めていく。